



桜の下でお餅つき

そして第三小学校です。行事拠点は福生公園で、特にさくら祭り、盆踊り、夏まつり等を行っています。今回取り上げたい行事は、3月下旬か4月上旬に町会独自で開催しているさくら祭りです。福生公園の上には忠霊塔があり、下の公園では各種団体の協力のもと、テントを設置し、焼きそば、おでん、フランクフルト、焼きとりなどを出店し、そして萩会の協力で野だても行います。子供たちはゲーム、カラオケ大会等で一日を楽しく過ごしています。また、昨年から役員で話し合い、暮れの餅つきだけではなく、陽気の良い桜の花の下で子どもた

我が町会では、毎年秋に町内運動会を開催していましたが、今年は地域の児童館に参加を呼びかけ、協働で開催をすることにしました。  
11月14日(日)、地域体育館には予想をはるかに上回る300人近くの親子が集まり、大変盛り上がりしました。

### ふるまひ

#### みんなで健康づくり

武蔵野台一丁目町会  
尾川 治雄

ちに餅つきを、と話がまとまり、役員の指導のもと、安全を確保しながら行なっています。子どもも大人も和気あいあいと笑顔が絶えない行事となり、つきあがった餅を皆で試食し、満足しています。また、桜の木の下では、グループができ、一献を交わしながら、一日中笑い声、話し声の絶えない場となり、コミュニケーションを最大限に取り得ていることを確信しました。

私たちが役員は町会の一人でも多くの方に参加していただき、地域の活性化に一段と拍車をかけていくことを誓い合っています。



盛り上がった玉入れ

競技の内容も、老人会のお年寄りから、未就学の幼児まで、みんなが参加できる種目を企画しました。

お年寄りの方に椅子に座ってもらい、子どもがじゃんけんをして勝ったら前に進んでいくリレーや、玉入れ、パン食い競争、小学1年生から6年生のリレー、20歳代から60歳代までのリレー、綱引きなど、大変盛り上がりしました。

当日は、町会未加入の家族も多数見受けられ、参加者からは「こんな行事があることは知らなかった、また必ず参加します」とか「久しぶりに家族と楽しめ

### 福生市表彰式が行なわれました

7月4日(土)に開催された市制施行40周年記念式典において、福生市表彰式が行われました。

今年度は、市制施行40周年記念表彰として、市内のすべての町会・自治会が表彰されました。

なお、この事業は、東京都地域の底力再生事業助成対象事業として行いました。

「顔見知りだけだった人と話ができて一緒にゲームを楽しめました」など、感謝の声が多数寄せられました。



市制40周年記念式典

■設置施設一覧■

1	輝き市民サポートセンター
2	市民会館・公民館
3	白梅会館
4	松林会館
5	中央図書館
6	わかざり図書館
7	わかたけ図書館
8	中央体育館
9	熊川地域体育館
10	福生地域体育館
11	武蔵野台児童館
12	熊川児童館
13	田園児童館
14	福祉センター
15	福生市役所（3か所）
16	保健センター
17	福東会館

身近にある町会・自治会の地域活動を知っていただくこと、また、町会・自治会に関心を持っていただくため、市内公共施設に「思いやり傘」を設置し、皆さんに思いやりの心を届けます。

この「思いやり傘」は、市民の皆様が市の施設を利用され、突然の雨にあわれた時に、どなたでも

町会・自治会はまちを守る傘になり、地域を支えていきたいと願っています。



気軽にご利用いただけるよう、町会長協議会で用意したものです。使用している傘は、町会・自治会の会員の方からご提供いただいたものを活用しています。

利用した「思いやり傘」は、お近くの公共施設にご返却ください。



登別市連合町内会と意見交換会を行いました

11月8日（月）、町会長協議会視察研修で、福生市と友好交流都市協定を結び、ともに市制40周年を迎えた北海道登別市を表敬訪問し、登別市連合町内会と意見交換会を行いました。

意見交換会では、まず事務局から両市の概要と町会の現状についての説明がありました。

その後、加入率の低下の問題や防犯・防災活動の現状、町会の活性化につながる活動など、町会・自治会が共通して抱えている課題について、活発で有意義な意見交換が行われました。

今後の地域活性化に向けて参考にしていきたいと思えます。



町会・自治会に加入しましょう

町会・自治会に加入する...

地域の人たちと顔見知りになり、災害が起きたときに大きな効果を発揮するだけでなく、見守りが必要な高齢者の発見や子どもの見守りなど、地域の事件や事故を未然に防ぐことにつながります。

どうやって加入するの？

地域の町会・自治会には、どなたでも加入できます！

地域の町会・自治会にご連絡ください。

※お住まいの地域の町会・自治会がわからない場合は、福生市協働推進課（電話551・1590）までお問合せください。

平成22年12月

編集委員長 井上 正和  
編集委員 竹田 良昭  
中村 光昭  
佐藤 弘治  
西 敏彦